

市長あいさつ

皆さまこんにちは。

令和7年度、はじめての定例記者会見となります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

新年度がスタートし、早くも1ヶ月が経とうとしております。取手市では、3月末に「取手市こども計画」を策定したなか、新たに創設した「こども部」を含む体制のもと、新たな一歩を踏み出しました。

この「取手市こども計画」をもとに、「こどもまんなか」な取り組みを進めていくにあたり、「こども部」が中心となって、こどもや若者、子育て世代の皆さんから意見を聴きながら、市と地域、企業が連携して、「このまちに住みたい、住み続けたい」と思ってもらえるような取手市を目指して行きたいと考えております。

10年後、20年後の未来に、こどもたちの笑い声で包まれる取手市を残していくために、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、来週には大型連休が控えており、皆さまも様々な計画を立てていらっしゃるかと思います。

取手市内でも、大型連休期間中、「鯉のぼりプロジェクト in 岡堰」や「こども天国」、更には「取手ジャズ・フェス

ティバル 2025 Part 1」など、様々なイベントが開催されます。

ぜひ、イベントにお越しいただき、楽しいひとときをお過ごしいただければと思います。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「戸頭地区 地震における避難・幼小中合同引き渡し訓練の実施」についてです。

取手市立戸頭中学校では、戸頭小学校と戸頭地区コミュニティ・スクールを発足して2年目となります。

昨年度は、戸頭小学校と合同で、引き渡し訓練や防災訓練を行いました。本年度は、戸頭小学校だけではなく、めぐみ幼稚園、日本語学校「つくば smile」とも連携し、合同引き渡し訓練を、5月9日金曜日に実施をいたします。

戸頭中学校の生徒が、つくば smile の学生と協力しながら、園児と一緒に小学校へ避難を行い、その後、園児、小学生、中学生を保護者に引き渡す計画となっています。

訓練を通じて、地域連携の意識を高めていただき、災害が起こった際でも、地域の方々と安全に協力して避難行動をとっていただくことを期待します。

次に、「第50回 取手美術作家展「とりび」開催」についてです。

取手市内外で活躍する取手市在住の作家による、優れた作品を展示する美術作家展「とりび」は、今回で 50 回目の節目を迎えます。

日本画、洋画、彫刻など、郷土が誇る 41 名もの作家の、様々なジャンルの作品が展示される予定です。

さらに、50 回を記念して、取手駅東西連絡地下通路内の市民ギャラリーには、歴代のポスターを展示し、取手美術作家展の歴史を感じていただくことができます。

また、実際に作品を制作する楽しさを味わっていただけるワークショップも併せて開催いたしますので、ぜひ、この機会に多くの方にご来場いただけると幸いです。

以上で、私からの説明を終わります。